

月 日	経 過 ・ 動 向
3月11日(日)	○東日本大震災一周年。各地で追悼式典が開催された。
3月13日(火)	○気仙沼管内精神科医療に係る情報交換会（気仙沼管内精神保健医療福祉連絡会議）を開催した。 ※今回から、子ども総合センターが加わり、管内精神科医、市町、心のケアセンター関係者等精神保健医療福祉に関わる関係者で広く情報交換を行った。
3月16日(金)	○気仙沼市での「こころのケアチーム」の活動が終了した。

4 初動対応（地震発生後24時間の活動）

地震発生直後、職員の安否確認と並行して庁舎の損壊状況確認を行った。損壊は小規模であったが、電気・通信網が断絶し情報の受発信ができなくなった中、津波が隣接する大川を遡上してきたため、重要書類や緊急時持ち出し品等を2階に移動させ、身の安全を確保しながら警戒に当たった。

結果的に津波の被災は免れたが、電気・ガス・水道のライフラインが止まった中で夜を迎え、津波被害を避けて当所に一時避難してきた周辺住民をより安全な指定避難所への移送支援や、いち早く当所へ避難してきた気仙沼地方振興事務所水産漁港部職員（約20人）とともに衛星防災無線（VSAT）設置等の対応を行った。

ラジオからの情報しか無く、危険と隣り合わせで身動きできない中で災害対応活動方針の検討を行い、夜明けとともに活動準備を始めた。また、車が走行できる範囲で管内の医療機関や介護施設・水道施設等の状況確認を行ったが、範囲が限定されるとともに、通信網の障害により具体的な情報の受発信ができなかった。

一方、避難できた他公所の職員とともに、庁舎2階に県災害対策本部気仙沼地方支部の設営準備を行った。また、12日朝からは付近の河川水を汲み置き、所内1階トイレを使用可能とした。

